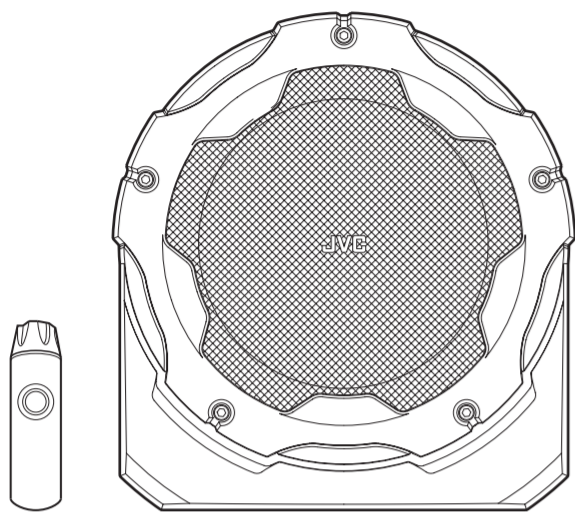


アクティブサブウーハーシステム

型名 **CS-DA1**



— お買い上げありがとうございます —

⚠ ご使用前に
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

故障かな？と思ったら

- 電源が入らない。音が途切れる。
→リモート入力や、電源を正しく接続する。
アース線を車両の金属部分に正しく接続する。
- スピーカーから音が出ない。
→ライン入力またはスピーカー入力コードを正しく接続する。

カーステレオを楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。とくに静かな夜間の場合、小さな音でも通りやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。車の周囲に十分配慮して適度な音量に心がけ、快い生活環境を守りましょう。

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。
<http://www.jvc-victor.co.jp/reg/car/>

ご相談や修理は	
<p>ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。</p>	
<p>修理などのアフターサービスに関するご相談</p>	<p>お買い物相談や製品についての全般的なご相談</p> <p>JVCカーAV お客様ご相談センター</p>
<p>別紙の「JVCカーAV製品 サービス窓口案内」をご覧ください。</p>	<p>☎ 0120-977-846 (フリーコール) FAX 027/254-8927 受付時間 10:00~18:00 (土、日、祝日、当社休日を除く) 〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1</p>

●ご相談窓口におけるお客様の個人のお取り扱いについては、「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>
カーAVホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>



日本ビクター株式会社

LVT1554-001A

© 2006 Victor Company of Japan, Limited

0306SKMSANJSC

安全上のご注意 — はじめにお読みください —

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

●絵表示の説明

- 注意をうながす記号
- 行為を禁止する記号
- 行為を指示する記号

⚠ 警告

- 本機はDC12Vマイナスアース車専用です。
 - 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーの端子のコードを外す。
 - ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。
- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。
 - リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。
 - 交通事故やけがの原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施す。
 - 交通事故や火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しない。
 - これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しない。
 - 事故の原因となります。

⚠ 警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。
 - ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しない。
 - 事故・火災・感電・故障の原因となります。
- 自動車運転中に音量調節等の操作をしない。
 - このような操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障や異常のまま使用しない。
 - 万一、故障や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いが出るなど）が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。
 - 規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

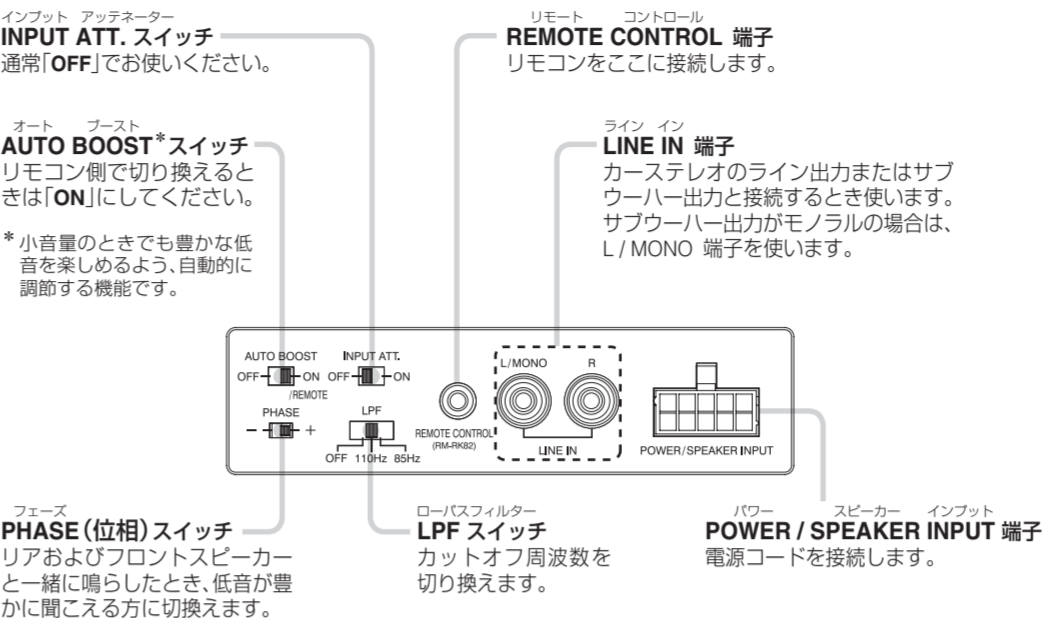
⚠ 注意

- 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。
 - 安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 必ず付属の部品を指定通り使用する。
 - 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして事故やけがの原因となることがあります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。
 - 本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避ける。
 - 外れて事故やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。
 - 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機の通風孔や放熱板をふさがない。
 - 通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本機を不安定なところに取り付けない。
 - 正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。
- 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
 - 接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。
- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意する。
 - 断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。
- 本機を車載用以外には使用しない。
 - 感電やけがの原因となることがあります。

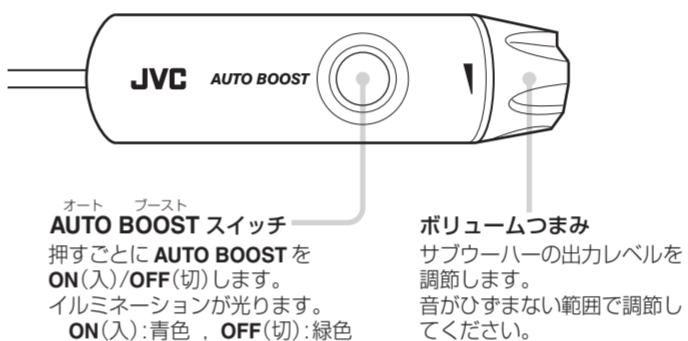
ご使用方法

- 低音の多い音楽CD等をテスト再生し調節します。

本体



リモコン

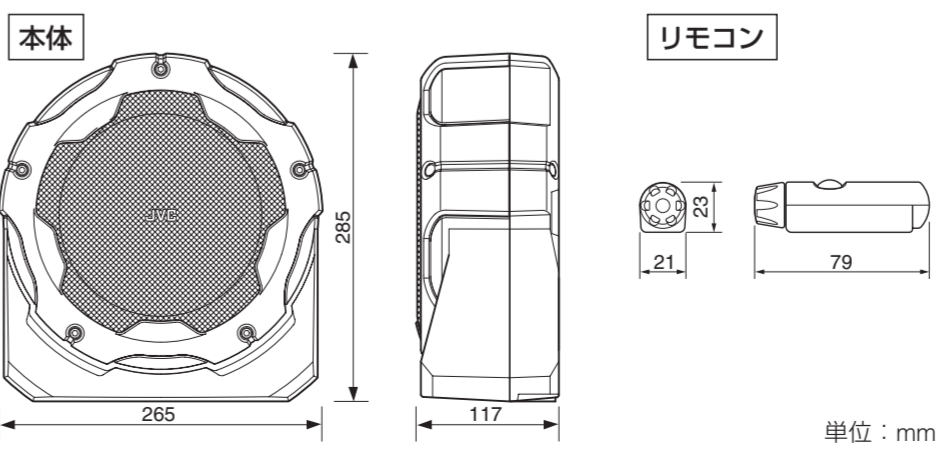


主な仕様

— 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。 —

- 種類 : アクティブサブウーハーシステム
アンブ内蔵、密閉型
- 使用スピーカー入力端子 : 20 cmコーン型
- アンプ部最大出力 : ライン入力 (RCA 1系統) 、0.19 V / 25 kΩ
スピーカー入力 (1系統) 、3.7 V / 20 kΩ
- カットオフ周波数 : 170 W (85 W + 85 W)
DC14.4 V / インピーダンス 2 Ω + 2 Ω
- 再生周波数帯域 : 85 Hz , 110 Hz
カットオフスロープ −24 dB / oct. (ローパスフィルター)
- 出力音圧レベル : 45 Hz~170 Hz (LPFスイッチ [85 Hz])
45 Hz~200 Hz (LPFスイッチ [110 Hz])
45 Hz~500 Hz (LPFスイッチ [OFF])
- レベル調節 : 103 dB/m (ライン入力 0.03 V)
レベル調節 : −50 dB~+10 dB (リモコン)
- 電源電圧 : DC14.4 V (11 V~16 Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 外形寸法 : 幅 265 mm × 高さ 285 mm × 奥行 117 mm
質量 : 約 4.0 kg (付属品含まず)

寸法図



<お知らせ>

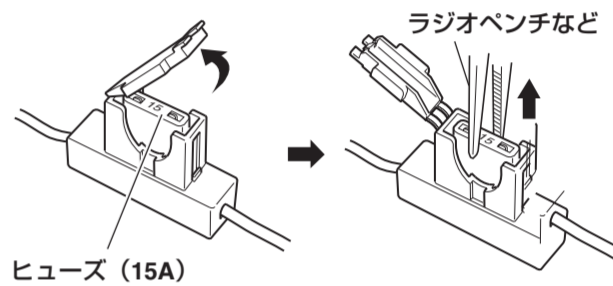
- 低音域が過大入力となり、音が割れたり故障の原因となるのを防ぐため、下記の状態で使用してください。
 - 接続するカーステレオ等の音質調節は、全てフラットの状態でお使いください。
 - ラウドネスコントロール : OFF (切)
 - BASS (低音) : フラット
 - グラフィックイコライザー : 低域をフラット
- スピーカー入力端子を使う場合、1chあたり60W以下の出力のカーステレオまたはパワーアンプと接続してください。
- カーステレオのライン出力またはサブウーハー出力が2 V を越えるときは、INPUT ATT. スイッチを「ON」に切り換えてください。

<お手入れ>

- 表面が汚れたときには、柔らかい布でから拭きをしてください。アルコール、シンナー、ガソリンなどの揮発性のものやカーワックスが付着すると、塗装がはげたり変化する原因となります。

<ヒューズの交換について>

- 本機のヒューズは15Aです。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げ販売店にご相談ください。



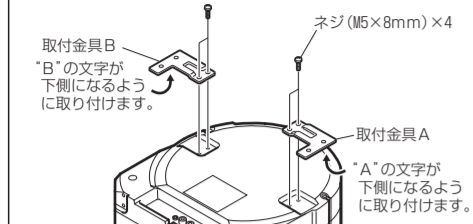
付属品

- リモコン: RM-RK82 (コードの長さ5m) × 1
- スピーカー入力コード (長さ4m) × 1
- 電源コード (長さ6m、うちスピーカー入力の長さ1m) × 1
- L型ピンプラグ中継コード (長さ20cm) × 1
- 取付金具A × 1
- 取付金具B × 1
- 取付金具C × 2
- ネジ (M5 × 8mm) × 4
- ネジ (M5 × 25mm) × 4
- スプリングワッシャー (M5) × 4
- 蝶ナット (M5) × 4
- ネジ (φ4 × 20mm) × 8
- 両面テープ × 1
- クッション × 3
- コードコネクター × 1
- ワイヤークランプ × 1
- 型紙 × 1

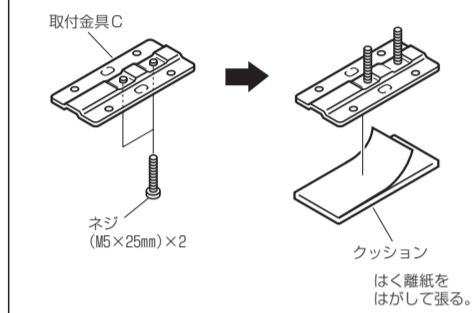
あらかじめ、コードを接続し、本体のスイッチを設定しておいてください。

■横置きに取り付ける場合の手順

1 裏面に取付金具A、Bを取り付ける



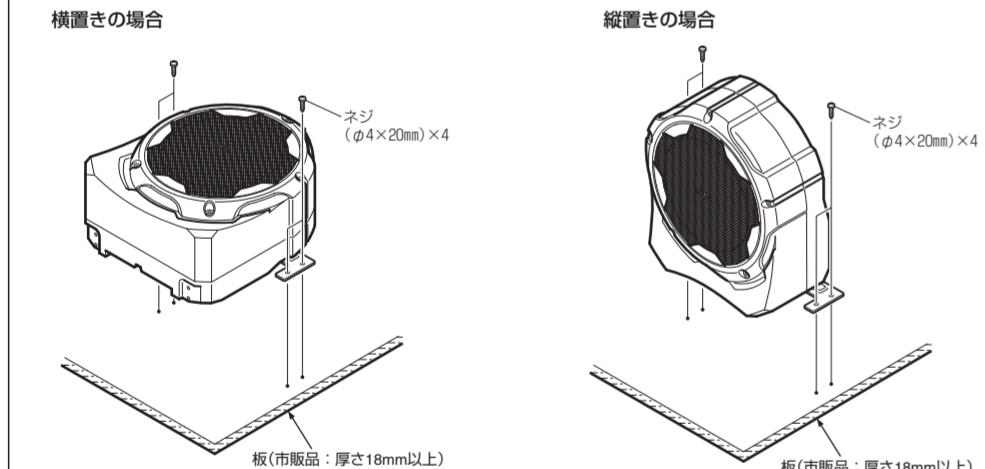
2 取付金具Cにネジを締め付け、クッションを張る



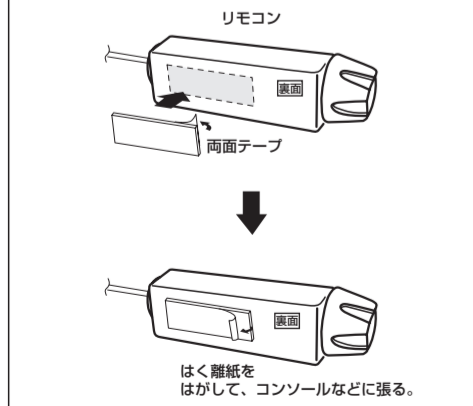
- 取付金具Cを2個組み立てます。

●市販の板にネジ止めする場合

手順1のあと市販の板にネジで固定します。この場合、取付金具Cは使いません。



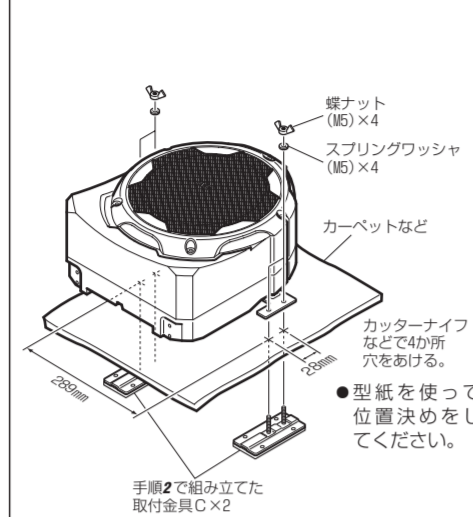
●リモコンの取り付け



お知らせ

- 汚れをよく落としてから張ってください。

3 カーペットに穴をあけ、組み立てた取付金具Cを下からあてがい蝶ナットで固定する



ご注意

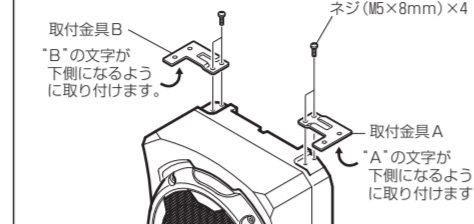
- クッションを取付金具Cに張っておかないと、車の振動により車体との接触音が発生します。

取付上のご注意

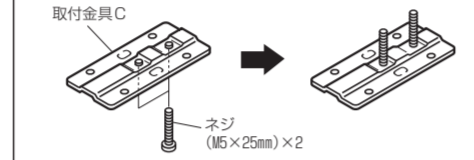
- 穴をあけるときは裏側に何も無いことを確認してください。
- ワイヤーをはさみ込んで締め付けしないでください。座席の下に適すときは、シートの移動ではさみ込まないように配線してください。

■縦置きに取り付ける場合の手順

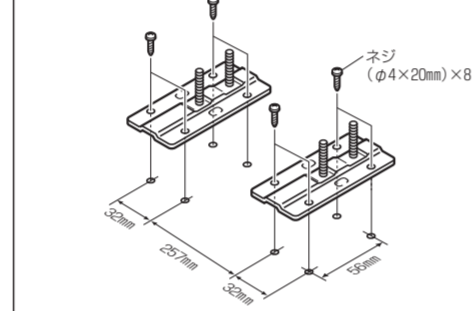
1 底面に取付金具A、Bを取り付ける



2 取付金具Cにネジを締め付け、車両ボディにネジ止めをする



- 取付金具Cを2個組み立てます。



- 型紙を使って位置決めをし、車両ボディに取り付けます。

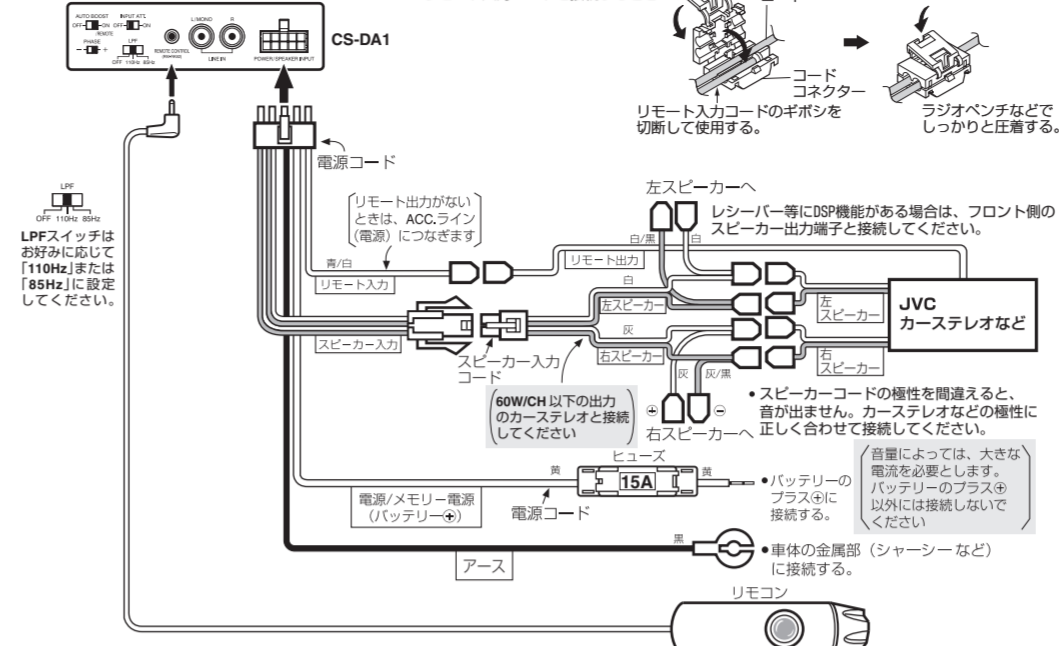
設置上のご注意

本機はアクティブサブウーハーシステムです。安全でしかも快適にご使用いただくために、次の点にご注意ください。

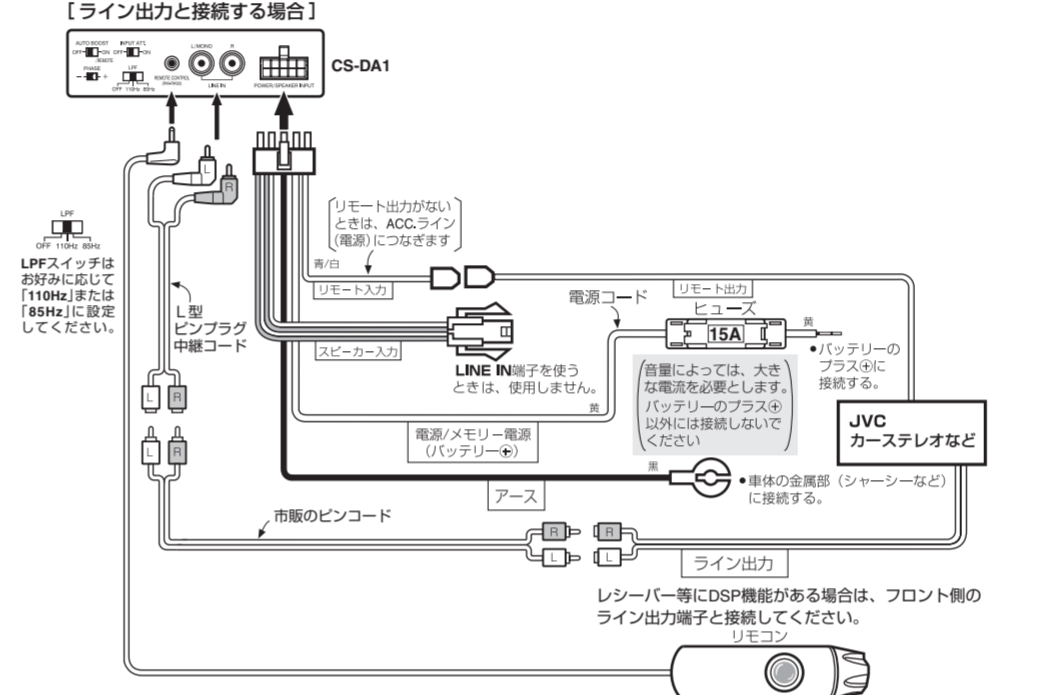
- 走行中の振動などで、取付ネジが緩むと大変危険です。本機をカーペット等に取り付ける場合は、付属の取付金具やネジを使用し、しっかり固定してください。
- 本機を両面テープやマジックテープで固定したり、後部座席に置いて使用しないでください。このような安全性を無視した使いかたは、非常に危険です。
- 取り付け作業を始める前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外しておいてください。
- カーステレオと接続する場合には、カーステレオの「取扱説明書」も併せてご参照ください。
- 磁気に注意
スピーカーには、豊かな低音を再生するために強力な磁石を使用しています。底面や側面にカセットテープや磁気カードなどを近づけると、データが消える原因となります。

接続のしかた

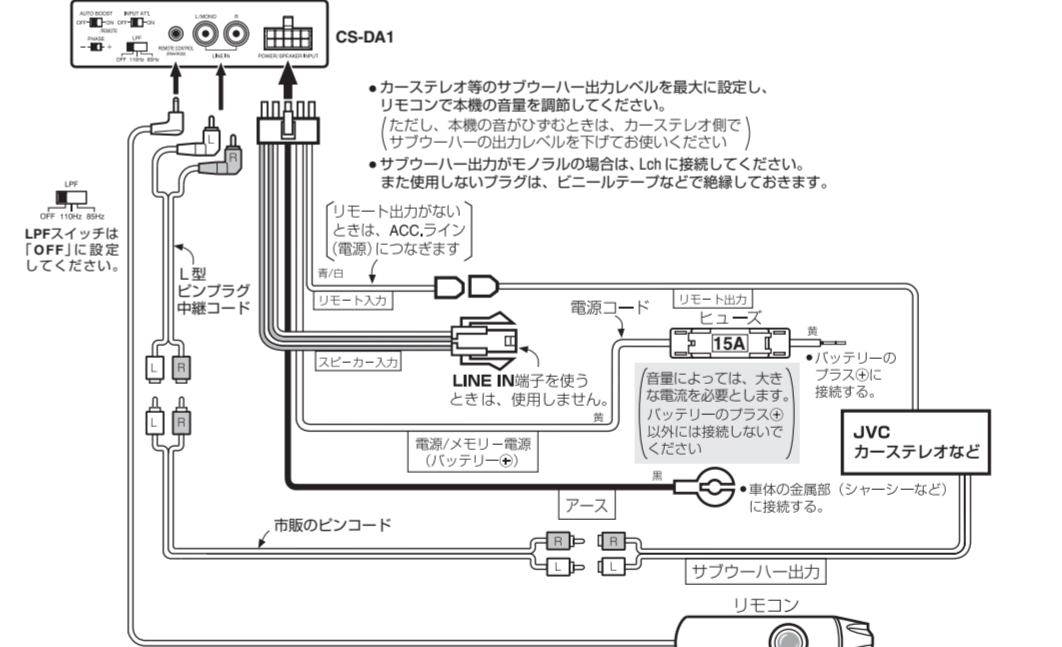
■スピーカー入力端子を使う場合



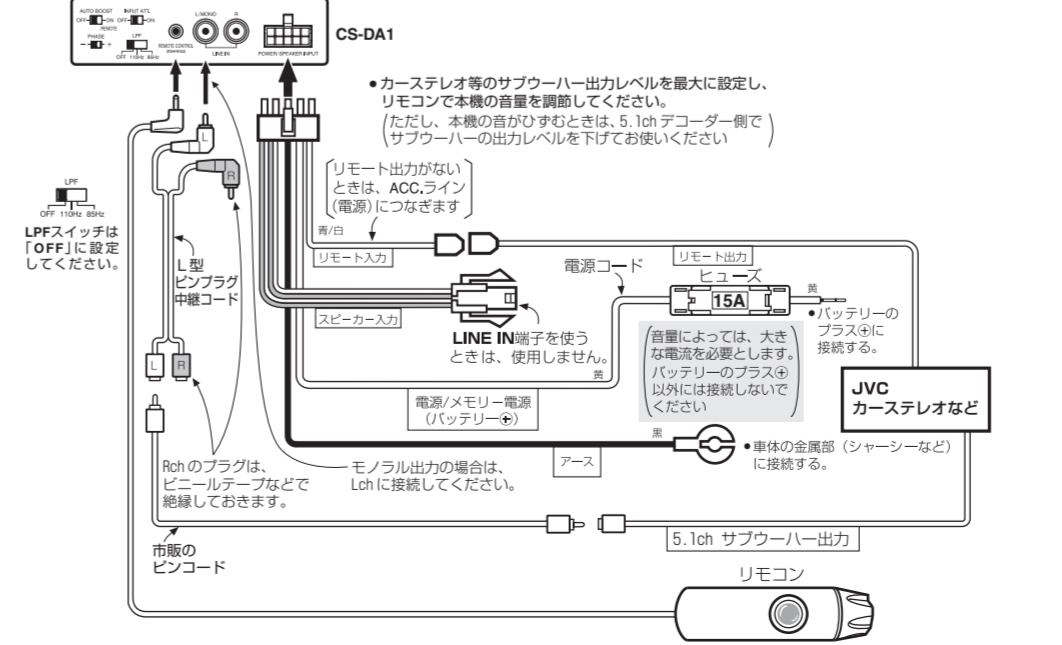
■LINE IN 端子を使う場合



【サブウーハー出力と接続するとき】



【5.1ch サブウーハー出力と接続するとき】



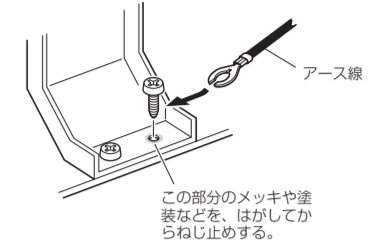
リモコンを使用しないときは

- 本機の音量は最大に固定されます。

接続上のご注意

■アース線の接続について

本機は、大音量時には大きな電流を必要とします。アース線を接続する車体の金属部のメッキ、塗装等を、はがしてからねじ止めしてください。電流が流れにくいと音質の悪化、または電源が入らない、音が途切れるなどの原因となります。このようなときは、アース線の状態を再確認してください。それでも直らないときは、アース線の接続する場所を変えてください。



■バッテリー以外(アクセサリまたはメモリー電源)から電源をとると

大音量となったとき、カーステレオの照明が暗くなったりヒューズが切れる原因となります。バッテリーのプラス端子以外には電源コードを接続しないでください。

■「リモート入力」は、必ずカーステレオの「リモート出力」または車両のACCライン(電源)に接続してください。

■電源コードについているヒューズは絶対に切り取らないでください。

■カーステレオのライン出力が2Vを超えるときは、INPUT ATT.スイッチを「ON」に切り換えてください。

■本機はDC12V、マイナスアース専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

接続が終わったら

- 外しておいたバッテリーのマイナス端子のコードを元のように接続し、プレーキランプやホーン、ウィンカーなどの電装品が正しく動作するかお確かめください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)	補修用性能部品の最低保有期間
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの上、大切に保管してください。 保証期間 お買い上げの日から1年間	本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は
修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

修理を依頼されるときは	持込修理
-------------	------

この取扱説明書に従ってご調べください。それでも正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は	
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。	お買い上げ日
保証期間が過ぎているときは	お買い上げ店名

修理すれば使用できる製品については、お客様の修理希望により有料で修理させていただきます。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合、当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。